



議会だより

■発行 奥尻町議会 ■編集 広報編集特別委員会 ☎01397 2-3412 番 FAX01397 2-3929 番



地熱発電所が完成間近

●平成29年第2回定例町議会・・・各会計補正予算、条例改正など

一般質問：工藤 勇議員

●総務産業常任委員会・・・町税等収納状況、地熱発電所建設現場視察ほか

●平成29年第1回臨時町議会・・・補正予算、条例改正など

第2回定例町議会

平成29年6月8日に「第2回奥尻町議会定例会」が開会され、1名の議員から一般質問がありましたので、その質疑応答の概要について紹介します。

一般質問

「地域医療構想の方向性と自主性」について



工藤 勇 議員

質問

北海道が示す地域医療構想では（南檜山2次医療圏

＝江差、上ノ国、厚沢部、奥尻）、2025年時点で必要とされる病院のベッド数を2015年比で44%減の245床と推計され、既存の医療機関だけではなく、介護施設などの高齢者福祉や在宅医療体制を充実し、目標を達成させていくという方針を示したことを受け、また、今年度から3年間の改革プランとして「奥尻町国保病院新改革プ

ラン」が策定されました。

自主性を求められている地域医療構想と新改革プランとの整合性について、病院経営の効率化に係る、待ち時間の短縮化などの具体的取組み、南檜山2次医療圏調整会議の主な内容と自主性、在宅医療や在宅介護の実態、そして社会的弱者の入院実態と対応についてご答弁を願いたい。

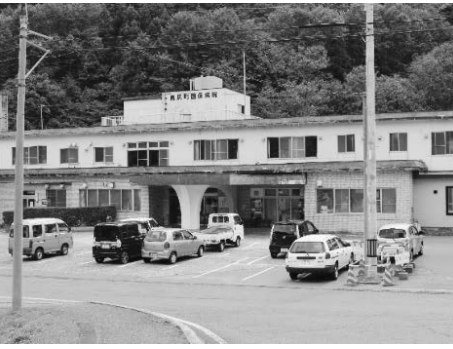
答弁

地域医療構想では、現在の病床形態を急性期病床、回復期病床、慢性期病床、在宅医療等に病床を転換することとしています。

リハビリテーション科により回復期医療の充実を目指し、療養病床については、回復期病床の転換や在宅医療へつないでいきます。待ち時間の短縮については、オーダーリングシステムを導入により、かなり短縮されたものと思っています。

新村 卓実 町長

リハビリテーション科の開設で回復期医療の充実を目指す



す。

調整会議の主な内容は、南檜山圏域の人口減少や患者数のバランスの取れた医療体制を構築するための指標であり、患者数に対応して各町自主的に取り組むよう求められています。

奥尻町国保病院は、救急医療体制を堅持しながら、病院建て替えを念頭に病床転換や必要病床を確保していきます。

入院患者のうち、社会的弱者といわれる方は7割程度で、今後は医療と介護の連携による在宅支援をしていきたいと考えています。

「国や道にスルメイカ不漁に対する資源回復の対策要請」について

工藤 勇 議員

質問

奥尻町の基幹産業である漁業（特にスルメイカ漁）

の危機的状況を踏まえ、漁業資源回復対策について、また、スルメイカ不漁の要因が資源減少と言われていますが、その原因究明と資源回復対策について、全国離島振興協議会や全国町村会を通じ、要望・要請の考えをお聞かせいただきたい。また、檜山振興局との産業振興対策について、意見交換等がありましたでしょうか、お聞かせいただきたい。

国や道に
要望していく

新村 卓実 町長

答弁

安定的な漁業経営が図られるよう国や道に要望をしています。

資源回復のため要望しておりました漁礁、産卵礁についても、新たにタコ産卵礁が稲穂・勝潤沖に設置予定となっています。スルメイカ不漁の原因究明、外国船の違法操業の取締りなど、国へ要望・要請

していきたい。

檜山振興局においては回遊魚中心の漁業から養殖への転換を推進しています。意見交換の場は今のところ持たれていません。

奥尻町としては、島の現状を訴えながら増養殖漁業の支援を求めています。

要請されていた意見書については3意見書について各委員による提案とすることなどを決めました。

意見書を
提出しました

次の意見書を関係機関に提出しました。

◎地方財政の充実・強化を
求める意見書

◎義務教育費国庫負担制度
堅持・負担率1/2への
復元、教職員の超勤解消
と「30人以下学級」の実
現、「子どもの貧困」解
消など教育予算確保・拡
充と就学保障に向けた意
見書

◎平成29年度北海道最低賃
金改正等に関する意見書

議会運営委員会

6月8日に開会する第2
回定例会の議事運営につ
いて審議しました。

同委員会は、会期につ
いては1日とし、各団体から

平成29年6月8日に開会された「第2回奥尻町議会定例会」で次の事項について審議し、いずれも原案どおり可決されました。

報 告

●平成29年度奥尻町一般会計補正予算(第3号)
 ……原案可決

●平成28年度奥尻町一般会計繰越明許費繰越計算書の報告について
 ……報 告

民生費のうち、臨時福祉給付金給付事業として1千2百11万5千円を翌年度繰越額としたことから、地方自治法施行令の規定により報告したものです。

補正予算 (一般会計)

道支出金	1千7百74千円
繰入金	8千7百73千円
収入金	1百75万4千円

〔歳入〕

使用料及び手数料	62万3千円
国庫支出金	1千7百74千円

歳入歳出予算の総額からそれぞれ1億3千9百52万円を増額し、歳入歳出予算総額を38億4千4百45万5千円としました。
 補正内容及び補正額は次のとおりです。

町 債

3千2百40万円

〔歳出〕

総務費	3百40万7千円
民生費	7百38万4千円
衛生費	5千2百21万7千円
農林水産業費	2千5百36万8千円
商工費	4百6万3千円
土木費	3千6百57万5千円
消防費	19万9千円
教育費	1千30万7千円

補正予算 (特別会計)

●平成29年度奥尻町介護保険事業勘定特別会計補正予算(第2号)
 ……原案可決

条 例

歳入歳出予算の総額からそれぞれ4百22万6千円を増額し、歳入歳出予算総額を2億6千4百43万4千円としました。

●奥尻町地熱坑井施設設置条例について
 ……原案可決

再生可能エネルギーと地熱資源の活用を図るため、地熱坑井施設の管理運用方法を定めた本条例を制定しました。

●奥尻町課設置条例の一部を改正する条例
 ……原案可決

機構改革に伴い、本条例の一部を改正しました。

●職員の育児休業に関する条例の一部を改正する条例
 ……原案可決

人事院規則の改正に準じて、本条例の一部を改正しました。

●檜山管内公平委員会共同設置規約の変更について
 ……原案可決

構成団体である「江差町ほか2町学校給食組合」において、平成29年7月31日をもって厚沢部町が脱退し、同年8月1日より組合名称が変更することに伴い、檜山管内公平委員会共同設置規約の変更について協議しました。

●檜山管内行政不服審査委員会共同設置規約の変更について
 ……原案可決

檜山管内公平員会共同設置規約の変更と同じく、厚沢部町の脱退に伴い規約の変更について協議しました。

●奥尻町過疎地域自立促進市町村計画の変更について

……原案可決

平成28年3月14日に策定した奥尻町過疎地域自立促進市町村計画の事業変更に伴い、当該計画を変更しました。

●辺地に係る公共施設の総合整備計画の変更について

……原案可決

平成26年7月16日に策定した奥尻辺地に係る公共施設の総合整備計画の事業変更に伴い、当該計画を変更しました。

契 約

●過疎バス購入事業契約の締結について

……原案可決

契約の方法 随意契約
契約の金額

1千4百96万円

契約の相手方

函館三菱ふそう

自動車販売株式会社

納入期限

契約の翌日から平成30年

2月20日まで

●奥尻町浄水場改修工事（機械・電気）請負契約の締結について

……原案可決

契約の方法 指名競争入札

契約の金額

1億1千5百23万6千円

契約の相手方

新栄クリエイト株式会社

工期 契約締結日の翌日から平成30年3月15日まで

人 事

●奥尻町農業委員会委員の選任について

……同 意

農業委員会等に関する法律の改正に伴い、次の方々が議会の同意を得て、選任されました

奥尻町字奥尻

中村英子氏

奥尻町字米岡

海老原浩氏

奥尻町字米岡

佐野孝昭氏

奥尻町字米岡

及川一栄氏

奥尻町字富里 桑名幸夫氏
奥尻町字富里 成田司氏
奥尻町字富里 長谷川一美氏

任期 平成29年7月20日
～平成32年7月19日

平成29年度以前

渡島・檜山地方税滞納

整理機構の収納状況

・平成29年度渡島・檜山

地方税滞納整理機構への

委託状況

町税等収納委託員収納実績について

平成28年度以前差押状況

について

福祉避難所の指定について

・おくしり荘を指定し協

定を締結予定

ピロリ菌検査助成について

総務産業
常任委員会

5月19日と6月23日に開
会された「総務産業常任委
員会」の概要についてお知
らせします。

5月19日

住民課



水産農林課

・平成29年度は、中学3年生～高校3年生を対象に2次検査まで全額助成
・平成30年度より中学2年生を対象に2次検査まで全額助成

奥尻町農業委員会について

・奥尻町農業委員会委員候補者の推薦・応募状況
・農業委員会候補者評価委員会について

総務課

函館空港民間委託に係わる株式譲渡について

奥尻町課設置条例の一部改正について

地域政策課

奥尻島地熱坑井設置施設条例(案)について

奥尻地熱発電所竣工式について

6月23日

地域政策課

完成が近い地熱発電所建設工事現場を、(株)越森石油電器商会、代表取締役越森修平氏の案内の下、現地視察を行いました。



議員研修会 が 開催

平成29年度北海道町村議会議員研修会」が7月4日に札幌市で開催され、奥尻町議会議員7名が参加しました。

研修会では、慶応義塾大

学教授の金子勝氏が「トラ

ンプ政権と日本経済―地域

経済への影響は？」と題し、

また、日本放送協会解説副

委員長の島田敏男氏が「日

本政治の昨日・今日・明日」

と題して、それぞれ講演が

行われました。

両氏の講演に各議員は最後

まで真剣に耳を傾け、今後

の議会活動に役立てたいと

語っていました。

議会運営委員会

(4月27日)

4月27日に開会する第1回

臨時会の議事運営について

審議し、会期については1

日とすることに決めまし

た。

臨時議会 4月27日

専決処分

●平成28年度奥尻町一般会計補正予算(第11号)

……承認

歳入歳出予算の総額にそれぞれ3億96万8千円を追加し、歳入歳出予算総額53億4千6百45万5千円となりました。

●平成28年度奥尻町一般会計補正予算(第12号)

……承認

歳入歳出予算の総額にそれぞれ4億4千4百60万7千円を追加し、歳入歳出予算総額53億9千1百6万2千円となりました。

●平成28年度奥尻町公共下水道事業特別会計補正予算(第4号)
 ……承認

歳入歳出予算の総額にそれぞれ1百万円を追加し、歳入歳出予算総額1億3千8百18万9千円としました。

●平成28年度奥尻町国民健康保険病院事業特別会計補正予算(第6号)
 ……承認

資本的収入から7百90万6千円を減額し総額1千1百70万6千円に、資本的支出から7百90万6千円を減額し総額2千3百72万円としました。

条 例

●奥尻町税条例等の一部を改正する条例
 ……承認

地方税法の一部を改正する法律等が交付されることに伴い、条例の一部を改正しました。

●奥尻町国民健康保険税条例の一部を改正する条例
 ……承認

国民健康保険法施行令の一部を改正する政令及び地方税法施行令の一部を改正する政令の施行に伴い、国民健康保険税減額措置に係る軽減判定所得の算定方法の変更等について定めるため、条例の一部を改正しました。

●平成29年度奥尻町一般会計補正予算(第1号)
 ……承認

歳入歳出予算の総額にそれぞれ2千4百57万5千円を追加し、歳入歳出予算総額36億9千8百22万9千円としました。

**補正予算
(一般会計)**

●平成29年度奥尻町一般会計補正予算(第2号)
 ……原案可決

歳入歳出予算の総額にそれぞれ6百70万6千円を追加し、歳入歳出予算総額を37億4百93万5千円としました。
 補正内容及び補正額は次のとおりです。

〔歳入〕
 繰入金 6百70万6千円

〔歳出〕
 民生費 △3百29万5千円
 衛生費 1千万1千円

**補正予算
(特別会計)**

●平成29年度奥尻町バス交通事業特別会計補正予算(第1号)
 ……原案可決

歳入歳出予算の総額にそれぞれ1千5百50万円を追加し、歳入歳出予算総額を7千2百63万2千円としました。

●平成29年度奥尻町介護保険事業勘定特別会計補正予算(第1号)
 ……原案可決

歳入歳出予算の総額にそれぞれ3百29万5千円を減額し、歳入歳出予算の総額を2億6千20万8千円としました。

●平成29年度奥尻町国民健康保険病院事業会計補正予算(第1号)
 ……原案可決

資本的収入に1千万1千円を追加し総額2千3百70万3千円に、資本的支出に1千万1千円を追加し総額4千56万5千円としました。

人 事

●副町長の選任について
 ……同意

欠員中の副町長について、次の方が議会の同意を得て、選任されました。

奥尻町字青苗41番地1
 田 中 敦 詞 氏
 任期 平成29年4月27日
 平成33年4月26日

奥尻町議会のうごき

4 月

- 8～9日 函館奥尻会総会（函館市）…議長ほか議員1名出席
- 21～23日 東京島人会総会（東京都）…議長ほか議員1名出席
- 27日 議会運営委員会
第1回奥尻町議会臨時会

5 月

- 8～9日 檜山議長会（江差町）…議長出席
- 19日 総務産業常任委員会
- 22日 平成29年度北海道縦貫自動車道建設促進道南地方期成会総会（函館市）…議長出席
- 27～29日 札幌奥尻会第43回総会（札幌市）…議長ほか議員1名出席

6 月

- 5日 平成29年度檜山地域振興協議会総会及び国道227号早期改良整備促進期成会総会及び平成29年度国道277号早期完成促進期成会総会及び平成29年度高規格幹線道路「木古内・江差間」整備促進協議会総会（江差町）…議長出席
- 12～14日 北海道離島振興町村議会議長会決算監査及び同協議会及び北海道町村議会議長会定期総会（札幌市）…議長出席
- 6日 議会運営委員会
- 8日 第2回奥尻町議会定例会
決算審査特別委員会
- 23日 総務産業常任委員会
広報編集特別委員会
- 27～29日 平成30年度管内懸案事項要望及び平成29年度函館空港振興協議会総会（函館市・札幌市）…議長出席

編集を終えて

この時期は、議長会主催の研修会が札幌で行われ、どんな講師かなと毎年楽しみにしているが、これとは別に年に1回は個人的に1人で議員セミナーに行くようにしている。

昨年は東京、その前は大阪、京都と大都市が多いが（今年は受けたい講座のセミナーがめずらしく函館開催で、即申し込んでしまったが）、特に懇親会がプログラムにあると嬉しく（酒が飲めるからだけではない）、各世代、全国津々浦々の議員さんと色々な話ができ、意気投合して仲良くなり、SNSで情報交換もできるので、非常に楽しんでいます。でも、ちよつと気になることが・・・。

懇親会で同じ地域の10人ぐらいで参加している、特に市議会議員が、一つのグループ・テーブルだけで話して盛り上がっていると、何が楽しいんだろうと冷めた目で見てしまう。

それぞれの考えもあると思うが、せっかくの機会なのに、他の市町村の議員とも情報交換できればいい勉強になるのにな〜と考えてしまうが。

そんなメンバーに限って受講態度も悪く見え、やはり政務活動費で来ている人たちは違うのかなと、つい偏見と嫉妬心で横目に見ながらも、セミナーで教わり吸収した内容を、いい意味でどう町政に利用するか考えている。今日この頃の自分でした。

議会広報編集特別委員

齋藤 伸彦